



食育キャプテン活動

2017年に県内他プロスポーツチームと共に子ども達へ「食べて強い体をつくろう」というメッセージを伝えてほしいということで、「食育キャプテン」に任命いただきました。しかし具体的な活動があまりできていなかったため、保育園でのおにぎり作り体験やホームゲームでの食育イベントを実施しています。ホームゲームでは選手との食育クイズ、「1日の野菜必要量350gを当てよう」「箱の中身の野菜はなんだろう？」ブースを実施。

- 活動場所** : 栃木県グリーンスタジアム、学校法人石嶋教育会
認定すずめこども園、ひかり幼稚園、
- 取組テーマ** : 教育
- 協働者** : 企業／学校／行政
- 協働者名** : 栃木県農政課、栃木県食生活改善推進員協議会、
よつ葉生活協同組合、株式会社新朝プレス、各幼稚園

活動で工夫した点

1日の野菜の摂取目標量が350gであることを周知したいということで、ホームゲームにて選手を交えて食に関するクイズ大会や、ゲームを実施し、子供たちに興味を持ってもらえるようにした。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

ホームゲームに実施する食育ゲームの内容決定に時間がかかった。スムーズ作りなど、子供たちが実際に野菜を口にする活動を実施したかったが、保健所の申請が下りず、野菜の重さを計ったり、野菜の形を決めたりというゲームに変更した。

クラブや地域の活動後の変化

栃木県担当課が非常に喜んでくださり、2019年に栃木県で実施された「食育推進大会」で事例発表をしてほしいとの依頼がありました。そのような活動をしていることが、地域の方々へのPRにもなった。



協働者の声

「とちぎ食育応援団」である栃木県食生活改善推進員協議会、よつ葉生活協同組合の方々が、たくさんの子供たちがブースに集まってくれたことをとても喜んでくれました。

参加者の声

「1日に食べなきゃいけない野菜の量を覚えた」「意外とたくさんたべなければならなかった」「選手がたくさん食べて活躍してるのがわかった」

活動の「ここぞ!」というPRポイント

「食」というスポーツに欠かせないものの大切さを子供たちに広めることができる活動であること。

補足